

科目名		建築施工 I			
担当教員		渡邊晋太郎		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期 後期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数 32
授業概要、目的、授業の進め方		建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築施工の概要と建築物の基礎の重要性を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、環境に適した各工法の基本を理解する。 3. 講義→評価テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。 4. 建築の基本となる構造躯体の主たる構造、鉄筋コンクリート工事の分野を学ぶ			
学習目標 (到達目標)		ここではその種類の施工方法や製品管理の仕方、材料の種類など詳しく学び、それが理解できる様になる。工事方法を通じ建築に必要な専門用語も習得していく。 また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築施工(市ヶ谷出版社)、配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	鉄筋コンクリート工事 (鉄筋コンクリートの概要) ①鉄筋コンクリートの構成、種類、施工手順			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①～③の予習	
2	鉄筋コンクリート工事 (鉄筋工事) ①鉄筋コンクリートにおける鉄筋の役割と重要性、 ②鉄筋の施工前検討や組み立て方法 ③製品検査について			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習	
3	鉄筋コンクリート工事 (鉄筋工事) ①鉄筋の継手、定着、かぶり厚さの意味			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
4	鉄筋コンクリート工事 (型枠工事) ①型枠の役割と構成、加工・組立			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
5	鉄筋コンクリート工事 (型枠工事) ①型枠の解体計画・存置期間・検査の方法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
6	鉄筋コンクリート工事 (コンクリート工事) ①コンクリートの概要と性質、打設のプロセス			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
7	鉄骨工事 ①鉄骨工事の躯体と仕上げ			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
8	工場製作 ①工場製作の流れと溶接の注意点、 ②製品検査			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①～②の予習	
9	現場の進み方 ①現場建方の注意点、 ②接合方法			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する	
10	順次 評価テストを実施する。 (3回以上実施予定)				
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	取組姿勢			評価テストを随時実施し、その評価を加える。課題提出を課した場合、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって取組姿勢を評価をする。取組姿勢に関しては、出席率や遅刻回数も加味する。日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。建築施工は質の高い建物をつくる知識はもちろん、質の高い設計、安全な現場をつくる上でも重要な知識を学習する。「なぜそうなのか」を理解して学習しましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務9年			